

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	豊橋あゆみ学園		
○保護者評価実施期間	6年 10月 28日		6年 11月 20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	41	(回答者数) 25
○従業者評価実施期間	6年 11月 11日		6年 12月 5日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	18	(回答者数) 12
○事業者向け自己評価表作成日	7年 1月 20日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	職員の研修を受講する機会、法人内等で研修を開催する機会を確保している。	外部研修への参加や内部研修の取り組み。	職員全員が偏りなく参加できるような研修計画を立てる。
2	他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等との連携を図り、地域全体の質の向上に対する取り組みを行っている。	自立支援協議会や子ども支援専門部会、市が主催する会議等に参加している。	児童発達支援センターとして、地域における中核的な役割を果たす取り組み（地域の子育て支援センターへの訪問、ペアレントトレーニング、研修の機会、交流会の開催など）。
3	保育所や認定こども園等との交流を実施している。	年4回、隣接する保育所と交流保育を行い、相互に訪問を実施している。	地域の子どもたちと活動する機会を作っていきたい。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	適切なスペースが確保できていない。	物品が多い。	片付け及び整理整頓、不要な物品の廃棄を行っていく。
2	定員、子どもの状態、実施している事業に対して適切な職員数が確保できていない。	配置基準は満たしているが、児童発達支援センターとしての業務が増えている。	募集を行っていく。
3	タイムリーに職員間で情報の共有ができていない。	支援終了後の振り返りが行えていない。	支援終了後に終礼（振り返り）を全職員で行っていく。